

高齢者の救急搬送に係る課題への取組状況の調査結果について

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本県の救急搬送に占める高齢者の割合は増加傾向にあり、今後も、高齢化の進展とともに救急搬送に占める高齢者の割合の増加が見込まれますが、高齢者は有病率が高い傾向にあり、内服薬の種類等も多いことから、救急搬送の際にはそれらの情報を確認する必要があるなど、高齢者の救急搬送において課題が生じています。

こうした課題を解決するためには、救急搬送側のみならず、要請側である介護施設等の関係機関との連携が不可欠であることから、県では毎年、各市町と地域メディカルコントロール協議会に対し、高齢者の救急搬送に係る課題への取組状況の調査を実施しています。

本調査結果を各市町や地域メディカルコントロール協議会に共有することで多職種連携につなげることを目的としています。

(2) 調査時期

令和 8 年 1 月 14 日から令和 8 年 2 月 6 日まで(調査対象年度:令和 7 年度)

(3) 調査対象

各市町地域包括ケア担当課及び地域メディカルコントロール協議会

(4) 調査への回答率

100%

2 調査結果の概要

		回数	市町または地域 MC 数	
1.	市町	(R7 年度) 地域包括ケアシステムに 関する会議の開催回数	0	2
			1	9
			2	2
			3～5	12
			6～10	2
			11 以上	2
	地域 MC	(R7 年度) 地域 MC 協議会の 開催回数	1	4
			2	2
			3	3

			市町または地域 MC 数	
2.	市町	地域包括ケアシステムに関する会議に消防機関が参画していますか。	参画している	14
			参画していない	15
	地域 MC	地域 MC 協議会に地域包括ケアシステム関係者が参画していますか。	参画している	5
			参画していない	4

計：19（昨年度比+1）
 第8次三重県医療計画
 において、「多職種連携
 会議の開催回数」として
 指標にしている。

3.	地域包括ケアシステムに関する会議 または地域 MC 協議会で、高齢者の救急搬送に係る課題に対し、どのような協議・情報共有を行っていますか。	（市町） ・ ACP の普及啓発としてライフデザインノートやライフケアノートを作成し、活用方法について情報共有を行っている。（伊勢市・玉城町・度会町・南伊勢町） ・ 会議内に研究会を設置し、在宅からの救急搬送時に使用する情報提供シートの整備にむけて検討している。（鈴鹿市） ・ 消防より、緊急医療情報キットの活用や夜間に施錠されていて入室困難な方への対応について情報共有がされている。（大台町）
		（地域 MC） ・ 高齢者の搬送状況及び心肺蘇生を望まない傷病者に関する調査の情報共有を行っている。（四日市 MC） ・ 高齢者施設における救急対応マニュアル作成のためのガイドラインや救急医療キットの取扱い等について、協議・情報共有を行っている。（松阪 MC）

4.	地域包括ケアシステムに関する会議 または地域 MC 協議会の開催にあたっての課題	（市町） ・ 出席者は入退院支援を行う医療相談室担当が主で、ドクターの参加はほとんどなく、入退院支援における病院医と在宅医及び介護職との連携についての協議が十分できていないと感じる。（津市） ・ 地域包括ケアシステムにおける課題は多岐にわたるため、特定の委員による検討は難しい。その都度、参加者を選定するテーマ型地域ケア会議を開催して課題解決や解決方針を検討するようにしている。（尾鷲市）
----	---	---

		<p>(地域 MC)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会のみ年1回開催になってしまっている。(鈴鹿亀山 MC) ・ACP について、介護・福祉関係機関等を交えた情報共有ができていない。(紀南 MC)
--	--	--

5.	社会福祉施設と消防機関・医療機関間で高齢者の救急搬送が必要となった際の連絡体制や情報共有の手段における課題への取組内容	<p>(市町) 取組を実施している市町数 … 11</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立度や持病、服薬情報等の情報が記載された生活チェックシートにおいて情報共有をしているほか、高齢者向け施設に対して、緊急事態対応フロー等を配布している。(四日市市) ・「高齢者施設における救急対応マニュアル作成のためのガイドライン」を作成し、高齢者施設から救急搬送時に活用できる救急医療情報提供シートを提示し活用を周知している。(松阪市)
		<p>(地域 MC) 取組を実施している地域 MC 数 … 5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナ保険証の利用により、医療情報取得が困難な傷病者からの情報取得が容易となり、適切な医療機関へ早期に搬送することができている。(四日市 MC) ・救急搬送や延命治療における本人の希望を家族や医療・介護関係者が共有し、救急搬送時に救急隊が確認できるようにしている。(四日市 MC) ・各施設のマニュアルを統一することが困難であり、取組が滞っている。(伊賀 MC) ・すべての福祉施設に入所者情報シート(項目は氏名、住所、病歴・手術歴、かかりつけ病院、服用薬名、アレルギー、日常生活状況、要介護・要支援度ほか)を配布し、円滑な救急搬送に繋げている。(紀南 MC)

6.	身寄りのない方の搬送における課題への取組内容	<p>(市町) 取組を実施している市町数 … 17</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「終活情報登録事業」を行っている。具体的には、身寄りのない高齢者(希望者)を対象に、緊急連絡先やリビングウィルの記載場所、臓器提供の意思等の情報を市で登録し、意思疎通が取れなくなった場合等に、消防や医療機関等に必要に応じて情報提供を行う。(四日市市) ・身寄りのない方への支援に関するガイドラインの作成を検討しており、研修会を実施した。(東員町)
----	------------------------	--

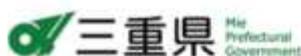
	<ul style="list-style-type: none"> ・身寄りのない方へのガイドラインを作成し、介護保険支援機関等へ周知している。(大紀町)
	<p>(地域 MC) 取組を実施している地域 MC 数 … 5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の情報連絡票を身寄りのない方や高齢者世帯に配布し、救急搬送時に使用している。(桑員 MC) ・高齢・障がい福祉課において、平成 23 年 10 月から救急医療情報キットを配布し、救急隊が救急搬送時に活用している。(三地域 MC) ・搬送先医療機関から市町福祉保健課へ、身寄りのない方の情報提供を行うシステムが構築されている。(東紀州 MC)

7. (5・6以外の) 高齢者の救急搬送時における課題への取組内容	<p>(市町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ACP 啓発媒体「いつまでも地域で自分らしく過ごす～自分らしく幸せのために～」、「心づもりシート」の啓発を実施している。(津市) ・高齢者施設の入所者の急変時に、傷病者の状態や現場の状況を把握できる「119 番映像通報システム」について、研修会の中で実践できるように予定している。(いなべ市) ・65 歳以上独居世帯(自宅療養に不安を抱えている夫婦)や 64 歳以下の障がいをもつ方など(希望者)に救急医療情報キットを配布し、緊急時に関係機関が情報共有できるようにしている。(御浜町)
	<p>(地域 MC)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DNAR について地域 MC 協議会で活動要領を定め、すでに対応している。(鈴鹿亀山 MC) ・ACP や DNAR については多職種連携会議等に参加し対応を協議している。(津・久居 MC) ・救急頻回利用者等については、市担当部局や医療機関と連携し対応方法を検討している。(三地域 MC)

3 まとめ

課題	今後の取組
・多職種連携会議の開催回数について	・開催できていない市町や地域 MC 協議会に対して、県内の開催状況を共有するとともに、検討を進めてもらうよう働きかけを行います。
・ACP や DNAR への対応について	<p>・対応を検討中の市町や地域 MC 協議会に対して、すでに活動要領等を定め対応している市町や地域 MC 協議会の取り組みを紹介し、検討を進めてもらうよう働きかけを行います。</p> <p>・令和7年3月に三重県医療保健部長寿介護課が作成した「いのちの道標パンフレット～地域で支えるあなたの未来の心づもり」の周知に努めます。</p>
・身寄りのない方の搬送について	・対応を検討中の市町や地域 MC 協議会に対して、すでにガイドライン等を定め対応している市町や地域 MC 協議会の取り組みを紹介し、検討を進めてもらうよう働きかけを行います。

(参考) 県ホームページ「いのちの道標パンフレット～地域で支えるあなたの未来の心づもり」



令和07年05月08日

医療介護従事者向け支援ツール「いのちの道標パンフレット～地域で支えるあなたの未来の心づもり」について

1.パンフレットの内容と利用方法について
このパンフレットは、医療介護従事者が「ACPのプロセスを正しく理解すること」「将来のこころづもりが必要な患者や利用者のかたに意思決定支援のための適切な情報を提供できること」「そのうえで相談にのること」を支援する内容になります。
医療・介護・福祉従事者が担当する患者・利用者に提示しながら活用することを想定しています。担当している患者・利用者の支援の際に是非ご利用ください。
また、施設での意思決定支援・ACP理解のための学習ツールとしても利用いただけます。

2.構成
前半は、一人の高齢女性の生涯を通して、医療・介護・ケアの内容を知り人生の過ごし方を考える物語になります。後半は医療・介護者のサポートを受けながら、前半の内容を受けて本人が思いを書き込むノートになっております。
ノートは「基本情報」と「わたしの今の希望・情報共有シート」の2部構成になっており、情報共有シートの裏面には「もう少し考えたいひとへ（もしもの時の医療について）」として心臓蘇生や経管栄養に触れています。シートを埋めることが目標ではありません。話し合っていくプロセスが重要ですので、患者・利用者の思いに沿ってどこまで進めてよいかを検討・判断するようお願いいたします。

[いのちの道標パンフレット](#)

本ページに関する問い合わせ先

三重県 医療保健部 長寿介護課 地域包括ケア推進班

〒514-8570 津市広明町13番地（本庁4階）

電話番号：059-224-3327 ファクス番号：059-224-2919 メールアドレス：chokus@pref.mie.lg.jp